

みんなで歩いた



おしも井戸



グリーンウォッチング

ふれあい

大府コミュニティセンター

編集発行

大府コミュニティ
推進協議会
ふれあい部会
事務局
大府公民館
TEL 48-1007

助けあう

家庭と地域を

考えよう

ふるさと大府の

道を歩いたよ!

第五回ふれあい歩け歩け大会が、三月十一日に老人クラブ、子ども会、ボーイスカウト、親子づれ等、約三五〇人が参加して実施されました。

昨年まではラリー形式で、実施されてきた、スタートとゴールが同じ場所でありましたが、今回は五回目という節目にあたり趣を変えて、約六キロの道程を、大府公民館をスタートし、新緑の探訪(グリーンウォッチング)を楽しみながら歩きました。

「ふれあいの道、四季の道」では、番号札があり参加者はそれを見つけたに歓声をあげ、熱心に資料と首っ引きで木や花の名前を考えていました。「高山古墳、おしも井戸」では、出発のとき配られたしおり「おおぶの昔と今」を見てその当時に想像する人も、「大倉公園」では、木陰で小休憩する人、せせらぎで水遊びをする人、グリーンウォッチングをし、ゴール迄あと少しとただ歩くだけの人等。

ゴールの桃山公園では、接待班の方々の出迎えて全員無事到着できました。環境課長さんの「お水を大切に、きれいに」というお話をきいたり、おにぎり、豚汁等の昼食を味わい汗ばむ春の一日を楽しく過ごしました。

ーラム 家の子育て

「88に第一回のテーマを「地域と子育て」として、多彩なパネルディスカッションを繰り広げました。本年度は「子育て」を我が家に絞り込み中学生四人をパネリストに加え、子供の視点を踏まえた身近な論議を展開しました。基調講演の竹内先生(現愛知教育センター教科研究室長)の講演要旨は次の通りです。

'89フォーラム「見直そう我が家の子育て」



フォーラム初参加 中学生の声

大府中学三年生 西川圭輔
この度のフォーラムは僕にとっても有意義なものだったと思います。普段、家庭について考えたことなんてなかった僕がパネリストとして舞台の上で、家庭についてどう思うか、を言うことになり、初めは不安でしたが何とか自分の考えを発表でき、ほっとしています。当日ご来場、またこの文を読んで下さっているみなさんが家庭について考えてくれたら、と思います。

大府中学三年生 深谷久子
大人でも、さまざまな心配や悩みをお持ちのことと思いますが、私たちは今それ以上です。明るい家庭づくりを図るには子供の悩みをじっくり聞いたり、話し合いをしたりして、親子の関係を太くし子供の支えになつてほしいと思います。中でも、家族そろっての食事や余暇活動がお互いの絆を強くするものと、フォーラムに参加し、子供の目として考えました。

大府中学三年生 村瀬拓也
今回のフォーラムは、パネリストとして、壇上に上がった僕にとっても大切なものでした。普段あまり気にかけていなかった家庭や生活環境の大切さを改めて感じたからです。

文化講演会

ストレスと健康

榎本 和先生
(共和病院 医局長)

三月二十四日(土) 大府公民館にて
忙しすぎる現代、体を病んでいる方、案外、ストレスがその病気を引き起しているかも。

丁寧なストレスの説明、ストレス刺激の多くの例。

私達はいつもストレスのあらしの中に立っている。——でも、ご安心を！身に覚えのある私、の年より上の方々は、たぶん、乳児の時から、幼児期、学童期と、社会は豊かではなかったけれど、適度なストレスを受けてストレス耐性を養える環境であつたと思います。心配なのは、今、豊かなこの現代に、多忙な親に育てられ、画一的、管理的教育を受けざるを得ない大事な私達の子どもたちです。親も先生も、学校の勉強第一主義で、成績ばかり気にして、子ども達から集団としての遊びを奪っていませんか。集団遊びは発達的課題(成長に見合った適度なストレス)を乗り越え、子供を成長させる一番良い方法だそうです。榎本先生は、健康的に群れ合つて遊ぶ、という、なんとも、動物的な、なつかしい表現をしていらつしました。ストレスから、じんま疹に悩む、ある青年の臨床例をひいて、自分で選択させる事の大切さ、(同時に責任も伴うのだが)を教えて

下さいました。私の高校生の息子たちに必ず、適用させようと思います。

さてストレスを上手に自己コントロールする方法を、残念ながら講演会を、お聞きになれなかった方に、コッソリ、お教えしましょう。榎本先生、直々の秘伝ですゾ！

『それはあなたの考え方ひとつ、という事です。ストレスは悪い事ではない。ストレスがあると、あなたが向上する。神様は平等に、不幸な事と幸せな事をほとんど下さる。不平不満で生きるより、良い事捜して生きてゆこうとする。ポリアンナの発想への転換を！』
数多くの臨床経験に基づいた説得力のある、わかりやすいお話で、私のストレスも少し軽くなった気分です。

加藤 瑠美子記



'89フォ 見直そう我が

- 一、子供は物ではない。導き方で大人物となる素質を持っている。
- 二、社会、家庭生活の機械化で物事にじつくりと取り組む心が失われていく傾向がある。
- 三、七〇点で満足し、残りは応用を覚えれば社会的に有用な人となる。

フォーラムに参加して

桃山保育園母の会会長
渡辺あゆみ

この度、フォーラムに参加させて頂き、緊張の余り、思いの半分もお話し出来なかったことを悔やんでおります。かつて、育児に悩んだ時「自分の思うままに」との主人の言葉を頼りに、現在に至っております。

しかし、竹内務先生の「便利さ故に子育てにも時間をかけたがらず、子と物として見ていないか」とご指摘を受けた時には、心を見透かされたような気がしました。確かに、子どもが早く保育園に入り、自由な時間がもてることを待ち望んでいたからです。

反省させられた一日でした。大変貴重な体験をさせて頂きましたことに、心より御礼申し上げます。

そして、最近言われている親子の対話の少なさ、絆の浅さなどが、今回のフォーラムによって、改善されれば、パネリストとしても、とても嬉しく思います。

大府中学三年生 橋下陽子

私たちが大人に望むことは、ものの注意の仕方にあります。小さい子は、大声をはりあげたりしなければ分らないかもしれないが、中学生くらいになると、反発したくなることがあります。それよりも、じっくりその事について話し合う時が、私はその時の親からの言葉もしつかり受け取れて胸に残ります。

パネリストの皆さん



部会だより



和と輪の昼食会

ふるさと部会

福祉活動の一環として桜の花も満開の三月二十五日大府区役場にて大府地区のひとり暮らし老人二十一人が大府区長、老人クラブ会長さん方より励ましの言葉をいただきました。部会員が中心となり民生委員の方々とまぜご飯と豚汁で歓談しながら味わっていたきました。小学生の児童より心のこもった絵や、作文のプレゼントに大変喜んでいただき、昔懐かしい歌や、今の流行の歌とび出したり、お面太鼓の音に「マジックショーに：和気あいあいのうちに終り、この和と輪のふれあいをかみしめて、またお逢いできる日を楽しみに散会しました。(三島 記)

インディアカ大会で三位に！

けんこう部会

市内のインディアカ大会においてわが同好会は部員和気あいあいで試合に参加し好成績をおさめました。他市との交流も深めております。

やすらぎ部会

交通安全啓蒙の午後

一月一四日(日)大府公民館にて

●映画「僕とおじいちゃん」の交通安全

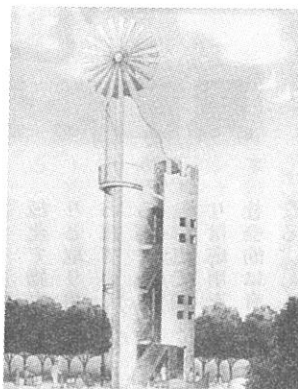
他マンガ二本

●腹話術 木子 敏一氏

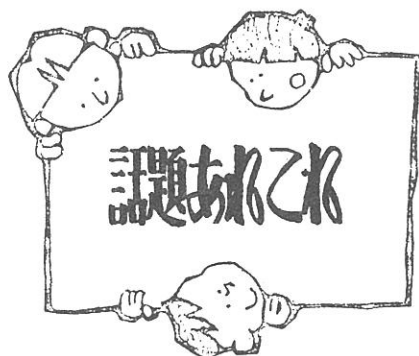
●運転適性チェック

模擬機器による適性テスト(写真)





大府の風車 桃山公園に実現
 昨年の仲良し時計に続き、今年は展望台(地上10m)付き全高19mの風車が早ければ11月にお目見えしそうです。
 市制20周年記念、そして20世紀と20にちなんだ20枚の羽根車が廻り、夜はライトに浮かび上り、また大府コミュニティ地域の名物が増えます。



この大会は、健康づくりと三世代のふれあい交流推進のため、県内二ヶ所の内の一に大府市が選出されて、今年明年度の二ヶ年実施されるものです。
 二月中に大府市内の四地域に於いて、約八十チームが予選大会を実施し今回の横根グラウンドの選抜大会となりました。優勝大日Bチーム。準優勝弥左エ門脇チーム。三位西半月チーム。

三世代ふれあい交流GB大会
 大府市老連健康増進部
 快晴の運動日和に恵まれた春三月二十一日、大府市全域より選抜された二十四チーム役員共総数二〇〇名により大府市老連第一回三世代ふれあい交流ゲートボール大会が開催されました。
 一チームの基準は老人三名壮年二名子ども二名以内で、選手の内員は三世代を含む五人以上七人未満です。



平成2年度

大府コミュニティ総会

- 日 時…平成2年4月29日(日)
午後1時30分～
- 場 所…大府公民館
- 総 会
- 講 演…「きれいな川や海を私達の手で——生活排水を考える」
- 映 画…「まぼろしの4番バッター」

訂 正

ふれあい13号に折込みの大府コミュニティ賛助会員名簿を訂正。

碧南信用金庫⇒碧海信用金庫

あとがき

平成元年度も間もなく終り、盛り沢山だったコミュニティの事業も、今は懐かしい思い出が多くなりました。いつも考えるのですが、裏方さん(各行事の実行委員さん)の苦勞を紹介したいと思いつつも、スペースがなくて残念です。この号も4人のコミュニティ推進員が担当しました。今後もフレッシュ部会員が多く出て、数年後の10周年事業に活躍を期待します。

平成元年度大府コミュニティ運動会収支決算書

収 入 の 部			
項 目	元年度予算額(円)	元年度決算額(円)	備 考
コミュニティ事業資金	150,000	150,000	けんこう部会から事業支出金
市 交 付 金	449,330	449,330	交付金
繰 越 金	166,458	166,458	
雑 収 入	14,212	38,391	預金利子等
合 計	780,000	804,179	
支 出 の 部			
項 目	元年度予算額(円)	元年度決算額(円)	備 考
報 償 費	350,000	328,429	賞品・参加賞等
準 備 費	70,000	47,038	競技用消耗品
食 糧 費	90,000	69,509	パン・牛乳等
事 務 費	50,000	48,161	資料・消耗品
印 刷 費	35,000	33,990	プログラム印刷
通 信 費	10,000	8,659	案内郵送料
写 真 代	25,000	23,965	記録写真代
煙 火 費	15,000	13,500	開催合図用
雑 費	10,000	6,180	謝礼等
備 品 費	80,000	65,480	横断幕・カップ
予 備 費	45,000	0	
合 計	780,000	644,911	

差引残額159,268円は次年度への繰越金とする。平成元年11月7日

「お知らせ」